

平成 29 年 (2017 年) 6 月 23 日

学力向上推進委員会委員長様

横須賀市教育委員会
委員長 荒川 由美子

次に掲げる事項について、下記の理由を添えて諮問します。

「教育委員会と学校が同じ方向を向いて取り組むことができる
新たな学力向上推進プランの策定について」

<理由>

横須賀市の子どもたちの学力に関する状況は、平成 25 年度より市独自に行っている学習状況調査の結果から、全国平均正答率と比較し、その差が大きく開いており、喫緊の課題です。また、平成 27 年度、28 年度の学習状況調査では、小学校 3 年生の時点ですでに全国平均正答率と大きく差が開いており、小学校低学年の段階での学習の定着に課題があることが明らかとなりました。

これまでも横須賀市の予算化事業、学校の取組に関する方針をまとめたものとして、平成 25 年度から平成 28 年度までは、その取組が一覧でわかるようなリーフレット形式で「学力向上推進プラン」が、毎年改訂を加えて作成されてきました。また、平成 29 年度は、学力向上推進の取組について、学校への理解を深めるために、横須賀市の学習状況、学力向上に向けた目標指標、学校が取り組むべき方向性、市の施策・事業の 4 章立てでのプランを作成しました。

しかし、現在の学力向上推進プランでは、学力向上の目標指標が総体としての指標で示されており、具体的な成果や課題が見えづらいということがあり、学力向上に向けて教育委員会と学校が同じ方向を向いているとは言い難く、課題であると捉えています。また、学力向上については、一年毎に計画を立てるものではなく、中長期的に策定がなされるべきものであるという点においても、課題であると捉えられます。

学力向上を実現するためには、中長期的なスパンで、学校と教育委員会が同じ目標指標を目指し、同じ方向を向いて取り組むことが不可欠です。

そこで、

教育委員会と学校が同じ方向を向いて取り組むことができる学力向上推進プランについて、特に学校の取組の成果が見届けられ、学校とともに取り組むことのできる目標指標の設定を中心としてご検討ください。